

箱根組ニュース

第334号 2020年12月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

秋の高水三山に12名。高水山常福院の風格、岩茸石山の絶景。

澤乃井の美味も堪能する。

(高水三山はデータによるとこれまで3回ほど登っている。2001年、2010年、2016年も3名で登っている。)

11月15日(日)、JR東京駅6時3分の中央特快高尾行きに乗車。立川、青梅と乗り継いで軍畑駅に7時51分着。

降り立ったのは、佐藤夫妻、有倉、宗像夫人、川名夫人、及川、奥村、和田、岩岳、西川夫妻、戸丸の12名。駅前のトイレ前でストレッチをする。

8時15分、雲一つない秋晴れの中、出発。駅前を左に行き踏切を渡る。少し下ってゆくと広い車道に出る。横断歩道を渡って左に沢沿いを進む。沢の水は澄んでいてとてもきれいだ。

8時25分、右に集落の道があるので入ってゆく。白く可愛い真ん丸の山茶花が一輪、ピンクの帽子をかぶるように咲いている。

8時27分、西峰の出橋という小さな橋を渡ると再び広い車道に出てここを右に曲がる。車道は少し傾斜がついてく

る。ピークの辺りに小さな地藏堂？が二つ建っている。少し下ってゆくと左に道が分かれる。橋の手前に標識が立っている。大通りと別れて左が平溝通りとある。

8時30分、左の高水山、岩茸石山方面へ進む。引き続き川沿いを進む。集落にはかりん、柿、そして柚子があちこちに実っている。

8時45分、右、高水山の標識。入ってゆくと右側に高源寺。小休止。手前には仮設のトイレがある。左奥には天之社妙見堂。小さいながら素敵なお堂だ。

この辺りから舗装道の傾斜がきつくなる。右の柚子畑を見ながら進む。昔、左の民家の奥様が柚子を売っていたのを買った記憶がある。

9時5分、右側に高水山源流の釣り堀。ここが最後の民家だ。ここから山道になる。すぐに目の前に砂防ダムの堰堤が見え、左側に急な階段が現れる。登り切りこれを超えると普通の山道になる。沢沿いの植林地を上ってゆく。すすきの多い九十九折れを上ると子尾根に出る。

9時52分。6合目の石柱。そのあと



は木の根の多い植林地を上ってゆく。
10時21分、右、林道經由上成木方面との分岐で小休止。再出発。

少し上ると平坦な気持ちのいい尾根道に出る。

10時25分、9合目通過。大きな倒木をくぐると分岐に出る。左はそのまま高水山へ、右はお寺經由のルートでこちらに進む。すぐに左に急な階段が現れこれを上ると、高水山不動尊。

※郵送がなくなりまして、たので残りの切手を現金化し収支に移動しました。

切手残数↓現金化

84円切手 116枚

↓9744円

40円切手 131枚

↓5240円

計14984円

現在の収支
繰越 18638 円
切手現金化 14984 円
支出
下見交通費 1489 円
HP作成費 500 円
当日プリント代 100 円
現在高 31533 円

10時35分、ゆったりとした境内に着。少しゆつくりして記念撮影。1200年ほどの歴史があるようだ。
10時45分、出発。お寺の裏にトイレがありこれを利用して。裏側に回ってみると紅葉の美しさが際立った。表から見たのは盛りを過ぎていたが意外な

ことに裏側の紅葉は見事な色だった。モミジにも裏と表があった。

10時55分、再出発。すぐに尾根に上がると南側が開けたポイントがある。右から奥多摩三山の御前山、大岳山らしき山並み、そしてその左には御岳山が見える。御前山と大岳山の間の手前には今日最後に上る惣岳山も見えている。

11時2分、高水山を通過。少し急な植林地を下る。

11時11分、右からの牧道と合流。秋の風情の自然林はなかなか気持ちがいい。

11時33分、まっすぐ尾根は岩茸石山への道、左の惣岳山方面への道と分かれてこれを上ってゆく。急な岩交じりの道を上ってゆき、少し緩やかになる。また少し上ると目の前が山頂だ。

11時44分、岩茸石山山頂に到着。沢山の人が休憩している。北側の絶景ポイントには満員で、標識のすぐ南側木々の下で昼食。ちよこつと

12月20日(日)、巾着田芋煮会です。

ラクダコース 歩行約2時間半

※電車バス内、混雑時はマスクを使用しましょう。

飯能駅からバスで恩田バス停下車。奥武蔵自然歩道でほほえみの丘、高麗峠(177m)を通過して巾着田に行きます。帰りは高麗駅へ。

※お弁当は要りません。参加者でいも煮の材料を分担。持ち寄る材料を戸丸までお知らせください。

参加人数で量調整が必要、前日掲示板で人数確認。

芋煮材料(こんにゃく、うどん、里芋、長ネギ、しめじ、舞茸、焼き豆腐、ごぼう、牛肉、麵つゆ)

○持ち物 食器、箸、カップ、飲料水、マスク(予備マスク)、傘、雨具、スパッツ、非常食、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 12月18日(金)までに

集合 12月20日(日) 西武池袋駅
7:02発 急行飯能行き
(前から3両目車内)

途中駅発

石神井公園 7:12 ひばりが丘 7:17

所沢 7:25 西所沢 7:28

飯能 7:49 着 (バス乗り換え)

8:20 発 こまニュータウン循環

恩田バス停 8:25 着

交通費 1195 円

池袋～飯能 471 円 高麗～池袋 534 円

飯能～恩田バス停 190 円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



ビールで乾杯。皆さん持ち寄りの美味しい総菜はいつも通り。どなたかの濁り酒もおいしかった。

12時40分、下山開始。北側の川苔山方面の絶景の山並みに別れを告げる。最初は急な下りだ。尾根の雑木林を抜けると突然景色が開ける。大規模な伐採で昔は見えなかった山並みがよく見える。

1時10分、尾根のルートから惣岳山が目の前に見える。振り返れば、上って

きた高水山、岩茸石山の尾根がくっきりと見えている。都心方向だろうか街並みも見えている。

1時25分、目の前に岩場が現れる。短い間だがこれが長く続けば槍ヶ岳や穂高岳のようだ。

1時35分、惣岳山に到着。森の中の青渭神社奥ノ院は割と大きく立派だが鉄の網に囲まれていて、ちよつと残念な感じだ。

1時42分、下山開始。

1時53分、左に尾根経由の沢井方面のルートがあるが通行止めになっていた。

2時3分、立派な大杉が3本。ご神木になっているようだ。

2時38分、鉄塔を通過。

2時42分、左に沢井方面の分岐が現れる。まっすぐ行けば御嶽駅方面だが、沢井方面に降りる。

2時51分、集落に出る。里に出て果樹や山並みを眺めると、里山って本当に穏やかな気持ちになって落ち着く。踏切を右に渡りしばらく進む。

3時12分、沢井駅に到着。ここでいったん解散。

宗像夫人、岩岳、佐藤、有倉、奥村、川名夫人、戸丸の7名は駅から5分ほど下って澤乃井の小澤酒造へ向かう。

3時30分、清流ガーデン澤乃井園に到着。まずは利き酒処でお猪口付き一杯200円のしぼりたて生酒を味わう。宗像夫人と岩岳さんがそのあとお土産を買って先に帰途に就く。

残った5人は4合瓶とおつまみを買ってテーブルを探したが、空席が見つからず、すぐ下の多摩川の河原に落ち着く。4合瓶とおつまみも追加して、日没まで澤乃井と多摩川を楽しんだ。



